

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

地域福祉課長 半場 祐子

電話番号

0852-22-5349

事務事業の名称	被災者への支援事業	
目的	(1) 対象	被災した県民
	(2) 意図	被災者への支援により早期に生活を再建してもらう。
事業概要	災害救助法が適用される等の基準を満たした場合に、被災市町村に対して、災害援護資金の貸付を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 災害援護資金貸付率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 災害援護資金貸付を貸し付けた割合	実績値	0.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						%
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	0	26,100
うち一般財源 (千円)	0	8,700

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

早期再建に向け迅速に対応できるよう、年度当初に財源措置をしている。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

迅速な対応ができるよう、年度当初に財源措置をした。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

特になし。

②困っている状況が発生している「原因」

特になし。

③原因を解消するための「課題」

特になし。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

今後も年度当初に財源措置を行って、災害発生時に迅速な対応ができるよう努める。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)